

第46回
美術科教育学会
弘前大会

教室から通路をひらく そのかたち、その先にあるもの

2024年3月2日(土)・3日(日)
両日ともに9:30AM 開始



弘前大学文京町キャンパス
教育学部校舎・50周年記念館

非会員のみ¥1,500にて、ご観覧可能です。
どなた様もお気軽にどうぞ~!

限定企画

3月2日(土)12:30~16:10
50周年記念館 みちのくホール

恒例行事



口頭研究発表・研究部会

3月2日(土)午前と3日(日)午前・午後に口頭研究発表を、2日(土)夕方に研究部会を開催。場所はいずれも教育学部校舎。

実行委員企画



2030年以降の「美術すること」を考える ~教育実践のあり方と考え方~

高松 智行
(横須賀市立明浜小学校ことばの教室、カマクラ図工室代表)
八嶋 孝幸 (弘前大学教育学部附属小学校)



美術科教育のカリキュラムの考え方 (教科中心カリキュラムからの脱却)

内田 裕子 (埼玉大学)
若松 大輔 (弘前大学大学院)

JOIN NOW

大会参加申込(Peatix)
事前・当日
正会員・非会員・学生会員



非会員向け限定企画
webチケット(Peatix)
¥1,500



懇親会申込(Peatix)
事前・当日
正会員・非会員・学生会員



- ★ 限定企画以外の催事へのご参加は、大会参加申込が必須となります。
- ★ 料金区分や概要について詳しく知りたい方は、チラシの裏面や下記のQRコードをチェック!

美術科教育学会HP



第46回弘前大会専用HP



共催：弘前大学教育学部
後援：青森県教育委員会、国際美術教育学会InSEA、
五所川原市教育委員会、弘前市教育委員会、弘前大学
お問い合わせ：大会運営事務局 (E-mail) hirosaki2024.jaaed@gmail.com
弘前大学教育学部 美術教育講座 佐藤 絵里子研究室

シンポジウム 新しい先生は毎回生まれる



現代アーティスト
鴻池 朋子

2024年夏、
青森県立美術館にて
個展を開催予定!



青森県立美術館学芸員
奥脇 嵩大

国際局事業企画 アートベースドヒューマニティ： 芸術による学習をInSEAとともに



国際美術教育学会(InSEA)会長
グレン・クーツ



第46回美術科教育学会弘前大会

「教室から通路をひらく／そのかたち、その先にあるもの」

2024年3月2日(土)・3日(日) 弘前大学文京町キャンパス(教育学部校舎、50周年記念館)

【開催スケジュール】

1日目 3月2日(土)		
9:00 9:30 11:45	受付 口頭研究発表 ①9:30-10:00 ②10:05-10:35 ③10:40-11:10 ④11:15-11:45	教育学部 A-F会場
12:30 12:40 15:00	開会式 「シンポジウム 新しい先生は毎回生まれる」 現代アーティスト 鴻池 朋子 青森県立美術館学芸員 奥脇 嵩大	50周年 記念館
15:10 16:10	「国際局事業企画アートベースドヒューマニティ： 芸術による学習をInSEAとともに」 国際美術教育学会InSEA会長 グレン・クーツ	みちのく ホール
16:20 17:50	研究部会 授業研究部会、美術教育史研究部会、造形カリ キュラム研究部会、乳・幼児造形研究部会、イン クルーシブ美術教育研究部会	教育学部 A-E会場
2日目 3月3日(日)		
9:00 9:30 11:45	受付 口頭研究発表 ①9:30-10:00 ②10:05-10:35 ③10:40-11:10 ④11:15-11:45	教育学部 A-F会場
12:30 14:00	実行委員企画①「2030年以降の『美術すること』を 考える～教育実践のあり方と考え方～」 横須賀市立明浜小学校こぼの教室、カマクラ図工室代表 高松 智行 弘前大学教育学部附属小学校 八嶋 孝幸 実行委員企画②「美術科教育のカリキュラムの考え 方(教科中心カリキュラムからの脱却)」 埼玉大学 内田 裕子／弘前大学大学院 若松 大輔	教育学部 1F 大講義室 2F 大講義室
14:10 17:00	口頭研究発表 ①14:10-14:40 ②14:45-15:15 ③15:20-15:50 ④15:55-16:25 ⑤16:30-17:00	教育学部 A-F会場

・1日目の19:00~20:30に、アートホテル弘前シティ(3F プレミアホール)にて懇親会を開催します。弘前大会HPに参加申込専用サイト(Peatix)へのリンク有。

【価格表】 事前申込はPeatixで2月23日(金)まで 当日受付有

種別	研究大会		懇親会	
	事前申込	当日受付	事前申込	当日受付
支払い方法	Peatix	現金払	Peatix	現金払
正会員※1	4,500円	5,000円	6,000円	6,500円
非会員	5,500円	6,000円	6,000円	6,500円
学生会員※2	2,500円	3,000円	4,500円	5,000円

上記の他、3月2日(土)午後5時に50周年記念館で実施される限定企画(開催スケジュールの水色部)を対象とした、非学会員の方のみが購入可能なwebチケットを1枚¥1,500で、Peatixにて販売中です(先着順あるいは抽選となる可能性あり)。

※1「大学美術教育学会」又は「日本美術教育学会」の会員は本学会会員と同様に、正会員の料金で参加できます。

※2「学生会員」は、本学会に「学生会員」として登録済みの方を指しています。なお「学生会員」の方は、在職の有無は問わず「学生会員」の料金でご参加いただけます。未登録の学部生、大学院生、聴講生、研究生、科目等履修生は「正会員」「非会員」の内、どちらか該当する方でのご参加となります。

現代アーティスト 鴻池 朋子

絵画、彫刻、パフォーマンス、アニメ、絵本など様々なメディアを通じ芸術の根源的な問い直しを続けている。個展：2009年「インタートラベラー神話と遊ぶ人」東京オペラシティギャラリー、2016年「根源的暴力」神奈川県民ホール、群馬県立近代美術館、2018年「Fur Story」Leeds Arts University、2020年「ちゅうがえり」アーティゾン美術館。2022年「みる誕生」高松市美術館ほか。グループ展：2016年「Temporal Turn」スペンサー美術館・カンザス大学自然史博物館、2021年「グラスゴーインターナショナル」2022年「瀬戸内国際芸術祭」ほか。著書に『どうぶつのことば』(羽鳥書店)など。

青森県立美術館学芸員 奥脇 嵩大

1986年埼玉県生まれ。京都芸術センター・アートコーディネーターや大原美術館学芸員を経て2014年から現職。農業や民俗学、考古学など他分野との交流から芸術の可能性を広げ、美術館に形と命の相互扶助の場を求めることに関心をもつ。青森での主な企画に「アグロス・アートプロジェクト2017-18：明日の収穫」「青森EARTH2019：いのち耕す場所ー農業がひらくアートの未来」「美術館堆肥化計画」(2021~)など。2024年夏の青森県立美術館企画展「鴻池朋子展：メディスン・インフラ(仮称)」を現在準備中。

ラップランド大学教授(フィンランド) グレン・クーツ

現役のアーティストであり、美術・デザイン教育に関する著作を活発に執筆している。現在、国際美術教育学会(International Society for Education through Art)会長(2019年から2025年まで)。国際美術教育学会誌(International Journal of Education through Art)元編集長(2010年から2016年まで)。「リレート・ノース(Relate North)」叢書の共同編集者であり、「芸術による学習(Learning Through Art)」叢書の編集者。美術教育における卓越した国際的リーダーシップに対して、合衆国美術教育学会(United States Society of Education through Art)から、ジークフェルド賞(Ziegfeld Award)を贈られている。

access

会場までの行き方や
キャンパスマップの
詳細はこちら↓



弘前駅から徒歩の場合(約20分)
タクシーを利用する場合(約5分)

バスを利用する場合(約15分)
JR弘前駅前(中央口)3番のりば
「小栗山・狼森線」または「学園町線」に乗車、【弘前大学前】または【弘大農学生命科学部前】で下車

土日は構内の駐車スペースを開放しておりますが、40台を超える分は先着順となります。来学の方はなるべく公共交通機関等をご利用下さい。